

## 2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 2 月 3 日作成)

小委員会名	建築空間の質感・色彩設計法小委員会		主 査 名：榎 究 就任年月：2009 年 4 月																																													
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (光環境運営委員会)		委員長名：久野 覚 主 査 名：佐藤 仁人																																													
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月																																															
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築空間における材料の質感と色彩とがイメージに及ぼす相互作用の評価</li> <li>・ 質感に対応した新しい色彩設計法の提案</li> </ul> 初年度： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「建築室内の色彩と材料の実態調査 WG」 発足</li> <li>・ 「街路景観色彩のアカデミックスタンダード準備 WG」 発足</li> <li>・ 「建築色彩と質感の記録手法検討 WG」 発足</li> <li>・ 「視覚的質感の表示法提案 WG」 発足</li> </ul> シンポジウム実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実例収集</li> </ul> 2 年度： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見学会実施、OS 実施、実例収集</li> </ul> 3 年度： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ WG 活動の見直し、シンポジウム実施、見学会実施</li> </ul> 4 年度： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都市と建築の外部色彩アカデミック・スタンダード刊行、活動成果総括</li> </ul>																																															
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無  <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 35%;">石田 泰一郎</td> <td style="width: 35%;">京都大学</td> </tr> <tr> <td></td> <td>稲垣 卓造</td> <td>大同工業大学</td> </tr> <tr> <td></td> <td>井上 容子</td> <td>奈良女子大学</td> </tr> <tr> <td></td> <td>飯島 祥二</td> <td>岡山商科大学</td> </tr> <tr> <td></td> <td>大野 治代</td> <td>大手前大学</td> </tr> <tr> <td></td> <td>郭 清蓮</td> <td>金沢工業大学</td> </tr> <tr> <td></td> <td>北村 薫子</td> <td>武庫川女子大学</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">幹事</td> <td>熊澤 貴之</td> <td>岡山県立大学</td> </tr> <tr> <td></td> <td>佐藤 仁人</td> <td>京都府立大学</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中山 和美</td> <td>東京電力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>名取 和幸</td> <td>日本色彩研究所</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">主査</td> <td>榎 究</td> <td>実践女子大学</td> </tr> <tr> <td></td> <td>宮本 雅子</td> <td>滋賀県立大学</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">幹事</td> <td>山本 早里</td> <td>筑波大学</td> </tr> <tr> <td></td> <td>池田 圭介</td> <td>(株) 松田平田設計</td> </tr> </table>				石田 泰一郎	京都大学		稲垣 卓造	大同工業大学		井上 容子	奈良女子大学		飯島 祥二	岡山商科大学		大野 治代	大手前大学		郭 清蓮	金沢工業大学		北村 薫子	武庫川女子大学	幹事	熊澤 貴之	岡山県立大学		佐藤 仁人	京都府立大学		中山 和美	東京電力		名取 和幸	日本色彩研究所	主査	榎 究	実践女子大学		宮本 雅子	滋賀県立大学	幹事	山本 早里	筑波大学		池田 圭介	(株) 松田平田設計
	石田 泰一郎	京都大学																																														
	稲垣 卓造	大同工業大学																																														
	井上 容子	奈良女子大学																																														
	飯島 祥二	岡山商科大学																																														
	大野 治代	大手前大学																																														
	郭 清蓮	金沢工業大学																																														
	北村 薫子	武庫川女子大学																																														
幹事	熊澤 貴之	岡山県立大学																																														
	佐藤 仁人	京都府立大学																																														
	中山 和美	東京電力																																														
	名取 和幸	日本色彩研究所																																														
主査	榎 究	実践女子大学																																														
	宮本 雅子	滋賀県立大学																																														
幹事	山本 早里	筑波大学																																														
	池田 圭介	(株) 松田平田設計																																														
設置 WG (WG 名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築室内の色彩と材料の実態調査 WG インテリアに使用されている色彩および素材の実態を調査すること。</li> <li>・ 建築色彩と質感の記録手法検討 WG 色彩と質感の記録手法について検討し、スタンダードとなる手法を提案する</li> <li>・ 街路景観色彩のアカデミックスタンダード準備 WG 都市と建築の外部色彩に関するスタンダード刊行に必要なバックデータの収集</li> <li>・ 視覚的質感の記述法 WG 建築仕上げ材の視覚的質感を定量的に記述する手法を提案する。</li> </ul>																																															
2009 年度予算	56,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：																																														

項 目	自己評価
委員会開催数	2回（年度内計画を含む） WGを主体として活動している。WGは、上記の設置WG順に、3回、5回、5回、2回開催されている。
刊行物 （シンポジウム資料等は除く）	
講習会	
催し物 （シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等）	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 （当初の活動計画と得られた成果との関係）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「建築室内の色彩と材料の実態調査WG」の発足と活動 三井ガーデンホテル銀座プレミア調査：8/2-8/3</li> <li>2. 「建築色彩と質感の記録手法検討WG」の発足と活動 中村芳樹氏を招いての勉強会：7/31 「光源と物体の色知覚をシームレスに扱うための方法」</li> <li>3. 「街路景観色彩のアカデミックスタンダード準備WG」</li> <li>4. 「視覚的質感の記述法WG」の発足と活動</li> </ol>
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 委員会の開催場所</li> <li>2.</li> <li>3.</li> </ol>

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。